



出演者募集

PLAT

穂の国とよはし芸術劇場
TOYOHASHI ARTS THEATRE

市民と創造する演劇

赤鬼

舞台手話通訳付きバージョン

出演者募集

作：野田秀樹

脚色・演出：樋口ミュ

振付：武田幹也

音楽協力：棚川寛子

出演者オーディションワークショップ開催！

日程：2025年7月19日[土]・20日[日]

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

2025年度の「市民と創造する演劇」は、PLATで『凜然グッドバイ』(2021年)や、『楽屋一流れ去るものはやがてなつかしき』(2022年)などの舞台手話通訳付き公演を演出した樋口ミュを演出に迎え、1996年の初演以降、日本だけでなくイギリスやタイ、韓国でも上演されてきた野田秀樹の名作『赤鬼』を、舞台手話通訳付きで2026年3月に上演します。この上演に向けて、出演者のオーディションを兼ねたワークショップを2025年7月に開催します。演劇経験のある方はもちろん、未経験の方でも大歓迎です。皆様のご応募をお待ちしています！

応募締切

6月22日[日]

17:00必着

応募資格

【A】メインキャスト：14 名程度

【B】アンサンブル（身体表現・音楽演奏）：6～10 名程度

高校生以上。演劇未経験者可。

メインキャストは、可能な限り下記企画スケジュールに参加可能な方。

アンサンブルは、基本的に週末・祝日中心の稽古。本番 2 週間前からは全日程参加可能な方。

出演者オーディションワークショップ

・日程：2025 年 7 月 19 日 [土]・20 日 [日]

※こちらが指定するどちらか 1 日の内、10:00～21:00 の中で約 3 時間程度を予定しています。

※会場までの交通費・宿泊費が必要な場合は、各自でご負担ください。

・会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

・参加費：無料

企画スケジュール

① 出演者ワークショップ

2025 年 12 月 5 日 [金] — 7 日 [日]

※平日は夕方・夜間、土日祝は終日を予定。

② 第一次稽古

2026 年 1 月 9 日 [金] — 18 日 [日]

※劇場リハーサル・本番期間中は必ず参加してください。

※稽古は個別事情に応じてスケジュール調整を行います。

③ 第二次稽古

2026 年 1 月 30 日 [金] — 2 月 22 日 [日]

※チケットノルマなど公演参加費は徴収しません。

※出演料・交通費・宿泊費の支給はございません。

④ 仕込み・劇場リハーサル

2026 年 2 月 23 日 [月・祝] — 3 月 6 日 [金]

⑤ 本番 会場：PLAT アートスペース

2026 年 3 月 7 日 [土] 13:00 開演／17:30 開演

2026 年 3 月 8 日 [日] 13:00 開演

応募方法

以下のいずれかの方法にてご応募ください。

・郵送：裏面の申込用紙にご記入の上、右記申込先に郵送

・窓口：裏面の申込用紙にご記入の上、PLAT 1 階窓口へ提出

・オンライン：PLAT ホームページの「申し込む」ボタンから必要事項を入力し送信

※18 歳未満の方は参加に際して保護者の同意が必要です。

オンライン申込の場合、オーディションワークショップ当日に保護者の同意書をお持ちいただきます。



申込フォーム

応募締切

2025 年 6 月 22 日 [日] 17:00 必着

※応募締切後、2025 年 7 月 9 日 [水] までにオーディション日時等の案内を郵送・メールにて通知します。



たくさんの皆さんの力をお借りしたいなと思っています。

『赤鬼』を20名以上のキャストで、身体表現と音楽も加わり、

そして舞台手話通訳付きとして上演する試みです。

なんと壮大なのでしょう！樋口はびっくりしています。

これはPLATだからこそ出来ること。

うまさも、正しさも、間違いも、失敗も、なんにもない。

必要なのは変化し続けられるエネルギーがあるかどうか。

『赤鬼』という作品に向き合うということは、日々の自分と向き合うことにつながる。

舞台上に、自分と向き合う役者たちが存在するからこそ、観客に届いていくナニかが生まれる。

演劇とは、そんな力をもっていると思っています。

皆さんの応募をお待ちしております。

[プロフィール]

劇作家・演出家。Plant M 主宰。劇団 Ugly duckling 旗揚げ以降、解散までの劇団公演 32 作品の戯曲を執筆する。劇団解散後は、座・高円寺の劇場創造アカデミー演出コースに編入し、佐藤信氏に師事。2012 年に plant M を立ち上げる。大阪、東京とフットワーク軽く飛び回り各地で公演をしている。2011 年から 2021 年の 10 年間、3 月春分の日に関東大震災のチャリティリーディングを行った。

[受賞歴]

1999 年 3 月『深流波〜シンリュウハ〜』で第 7 回 OMS 戯曲賞大賞を受賞。2000 年 3 月『ひとよ一夜に 18 片』で 2 年連続、第 8 回 OMS 戯曲賞大賞を受賞。2012 年 6 月第 38 回放送文化基金賞受賞ラジオドラマ部門『飛ばせハイウェイ、飛ばせ人生』2017 年 2 月大阪市文化祭奨励賞 女優の会『あたしの話と、裸足のあたし』の舞台成果。作・演出を担当。2019 年から OMS 戯曲賞の最終選考審査員を務める。

「舞台手話通訳」とは？

「舞台手話通訳」とは、舞台作品の進行に合わせた手話による同時通訳です。

通常の手話通訳とは異なり、演出家の指導のもと、通訳者も 1 人の出演者として舞台上に立ち、時にはともに演じながら、台詞や情景を観客に伝えます。

申込先・お問合せ

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 市民と創造する演劇『赤鬼』担当宛

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL：0532-39-8810（休館日を除く 9:00-20:00）

FAX：0532-55-8192

メール：jigyou@bunzai.or.jp

<https://toyohashi-at.jp>

主催：豊橋市、公益財団法人豊橋文化振興財団

助成：一般財団法人地域創造

令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



文化庁